

いのちの言の葉2013

富山県教育委員会平成25年度いのちの教育総合支援事業

「正しく 生きる とは」

立山町立釜ヶ淵小学校

平成25年6月28日実施

【授業の概要】

- 1, 立山連峰について
- 2, 閻魔庁について
- 3, 八正道について
- 4, 安全で楽しい立山登山
- 5, 登山のめあて

(6年生児童) 今日は、命のことや立山登山について教えてくださいありがとうございます。命の授業では、悪いことをしたら、地ごくへ落ちるということが分かりました。私もたまに悪口を言ったりすることがあるから、気を付けたいと思いました。立山登山のことについては、登山をするだけでも辛いのに、さらに空気が平地より25%もうすいので、とても辛いことが分かりました。でも、佐伯先生の話を知ったら、早く立山登山をしたいという気持ちになりました。



(5年生児童) ぼくは、佐伯先生の話を知って、7月25日に立山に登るけど、歩き方などを守って登りたいです。地ごくの話は、地ごくに行かないために八正道を守りたいです。これから、悪いことをしないために、立山登山で心をきれいにしたいです。佐伯先生が言われためあてを守って、安全に登るようにしたいです。

【いのちの先生】

佐伯 知彦先生

・山岳ガイド

(6年生児童) 今日はありがとうございます。八正道では、八つの正しい行いがあり、その中の一つの正語がわたしの中ではダメでした。わたしは、言葉づかいが悪いので、正語を正しくしたいです。わたしは、立山登山に行く時のめあてを知ったので、それを守って立山登山をしたいなと思いました。今日は、いろいろな登山の話を知りました。



(5年生児童) ぼくは、佐伯先生の話を知って、絶対悪いことや、人のためにならないことをするとだめだと思いました。わけは、佐伯先生にいろいろな地ごくを教わったからです。そして、一番人間界がいいし、もし死んだら天国に行きたいと思ったから、悪いことをせずに、いいことをたくさんしたいです。ありがとうございました。